

第3種郵便物認可

沖縄タイムス

ハンドボール
豊見城市民体育館

男子

興南 33
2112
1710
27 那覇西

女子

那覇西 28
1414
1319
コザ

興南17連覇



男子決勝 興南一那覇西 前半、興南の下地竜聖がシュートを放つ＝豊見城市民体育館(古謝克公撮影)

主力欠場 チーム奮起

スポット

苦しみながら価値ある17連覇を勝ち取った。男子興南は主力5選手が新型コロナウイルスの濃厚接触者とされ、30日の回戦から欠場。それでも残るメンバーが主将の看板を背負って戦い、那覇西との決勝を33-27で制した。

常勝チームの黒馬昭監は激しい京取り合いに打撃でさえ、みんな、本場に粘り強い守りをして、これと涙を止められなかった。決勝相手の前出守寺に奮闘し、前半は10-10と攻め交わねた。だが後半開始直後、堅守が興南のペースを崩し、後半は走りやつてやろうと二つになられた。戻ってきたら、もう泣いた。

このものの、優勝した徳山商工(山口)に30-35と善戦するほど戦力が充実しているだけに、この日で終わらなかつた。チーム最多出場の間、光裕寿は5人の分までやつてやろうと二つになられた。戻ってきたら、もう泣いた。佐賀で予選された九州総覇への意欲と自信を深めた。(富山孝)

那覇西、堅守で頂点

GK比嘉と守備連動



女子決勝 那覇西一コザ 那覇西のGK比嘉楓(中央)が相手シュートを好セーブ

堅守連攻の集大成で、女子那覇西がコザを20-19で振り切った。前半10分すぎまで無失点。3年男子がク。こぼれ球を拾った相手まで15分に総入れ替えるの左サイドシュートを比べて大勢を制した。8失点に抑えた比嘉から速攻つなげるだけなポストや両サイドと各。比嘉監督は、14人が無事大会に臨むことができた。と感謝。先制のロングで緊張がなくなり、最多7得点した金城選手、主将は「まだまだです。スリッドがあるアレーの中で、冷静な判断が得意ようにしたい」と全団を鼓舞した。18歳以下日本代表の経験がある比嘉も「優勝しか見えていない」と力を込めた。



男子を制した興南



女子優勝の那覇西

中部商と首里東 団体制す

△団体戦 男子 △1重里 東中里陸軍・陸波政斗 294 3 高2沖謙工 中里陸軍 津波吉 連 293 3 高2中部商 光崎晴 豊保和志 275 5点



団体優勝した(左から)男子首里東の中里陸軍、座波政斗、女子中部商の稲福心衣奈、高良紗恵。座波はパーフェクトも達成した。(提供)